

**マイタイムライン作成地区別ガイドライン
〈金岡中部地区〉**

金岡中部地区について

沼津市の北端に位置し、国道1号をはさんだ北部は急傾斜地が多く、土砂災害の警戒が必要です。

一方で地区の南部は、新中川が増水したときに甚大な被害が想定されています。

河道拡幅などの河川改修を行った平成5年以降、新中川周辺で大きな水害はありませんが、愛鷹山の南から流れる複数の河川が合流しているため、地区周辺だけでなく山間部の気象状況にも注意する必要があります。

1 該当する単位自治会

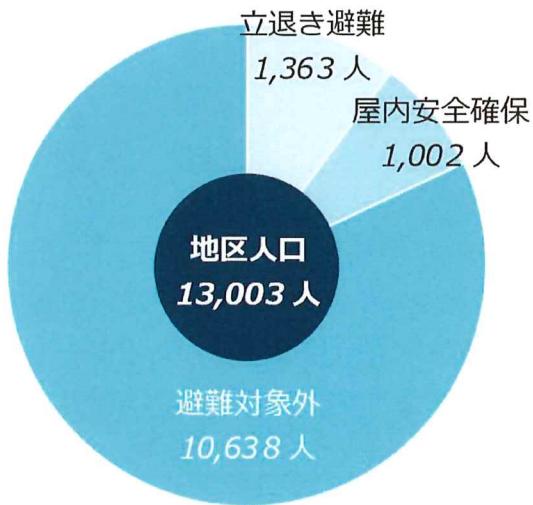
東熊堂、西熊堂、沢田町、江原町、足高拓南、寿町、明電町、柳町、神田町、若葉町、東名町、高尾台、豊町、松沢町、雲雀台、北神明町、筒井町、天神ヶ尾

2 地区内で洪水浸水を及ぼす河川

新中川

3 地区周辺の雨量

- 令和元年10月台風19号
193.5mm (10/11~12日)
- 令和3年7月豪雨
335.5mm (7/1~3日)
- 令和3年9月豪雨
145.0mm (9/1~2日)



図：地区の避難人口の割合

4 地区の避難人口と指定緊急避難場所

地区内の避難人口は、立退き避難が1,363人、屋内安全確保が1,002人、合計2,365人となっています。金岡中部地区の人口は13,003人のため、約2割の方が立ち退き避難又は屋内安全確保が必要な状況です。

指定緊急避難場所として金岡小学校（金岡地区センター）を指定しています。市が避難情報を発令したときは、金岡小学校を避難場所として開設します。

自主避難者がいたり、金岡小学校だけでは避難者を受け入れられないときは、金岡中学校を開設します。

避難場所	延べ床面積 (m ²)	※収容人数 (人)
金岡小学校（金岡地区センター）	10,372	2,200
金岡中学校	8,127	1,723

※収容人数は感染症等に配慮しない形での目安

5 洪水地区タイムライン例

地区の南部を新中川が流れしており、新中川の水位状況を確認しながら避難の検討を行っていく必要があります。

洪水浸水想定区域における浸水深は1～3m、浸水想定時間は概ね半日となっています（いずれも想定最大規模）。

また、北部の急傾斜地は土砂災害（特別）警戒区域に指定されているため、土砂災害警戒情報や市からの避難情報が発令された場合には速やかに避難が必要です。

水位状況は静岡県サイボスレーダーやテレビのdボタン等から最新の情報を確認できます。

河川名称 観測所	警戒 レベル	新中川	対応	土砂災害
		丸子橋水位		
堤防高	5相当	4.1m	自宅が浸水していないならば最新の注意を払って立退き避難 避難行動要支援者がいる場合は2階以上など自宅の高い場所に避難 河川の付近に居住していてすでに付近が浸水している場合は立ち退き避難はしない	土砂災害発生
氾濫危険水位	4相当	2.73m	避難要支援者は避難開始 健常者も立退き避難または屋内安全確保により全員が安全な場所へ避難する	土砂災害警戒情報
避難判断水位	3相当	1.8m	連合自治会長は単位自治会長に、必要に応じ公民館や自治会館を避難所に開設するよう依頼 避難行動要支援者は避難を検討 市の避難所が開設された場合は必要に応じ民生委員や防災指導員等と協力し避難行動要支援者に声掛け又は同行避難	大雨警報
氾濫注意水位		1.8m	情報ツールによる大雨や気象情報等の状況確認開始 非常持ち出し品の準備	
水防団待機水位	2相当	1.5m	避難行動要支援者は立ち退き避難の準備、2階以上に住居がある人は2階以上へ移動 民生委員や防災指導員と協力し避難行動要支援者への声掛け	大雨警報

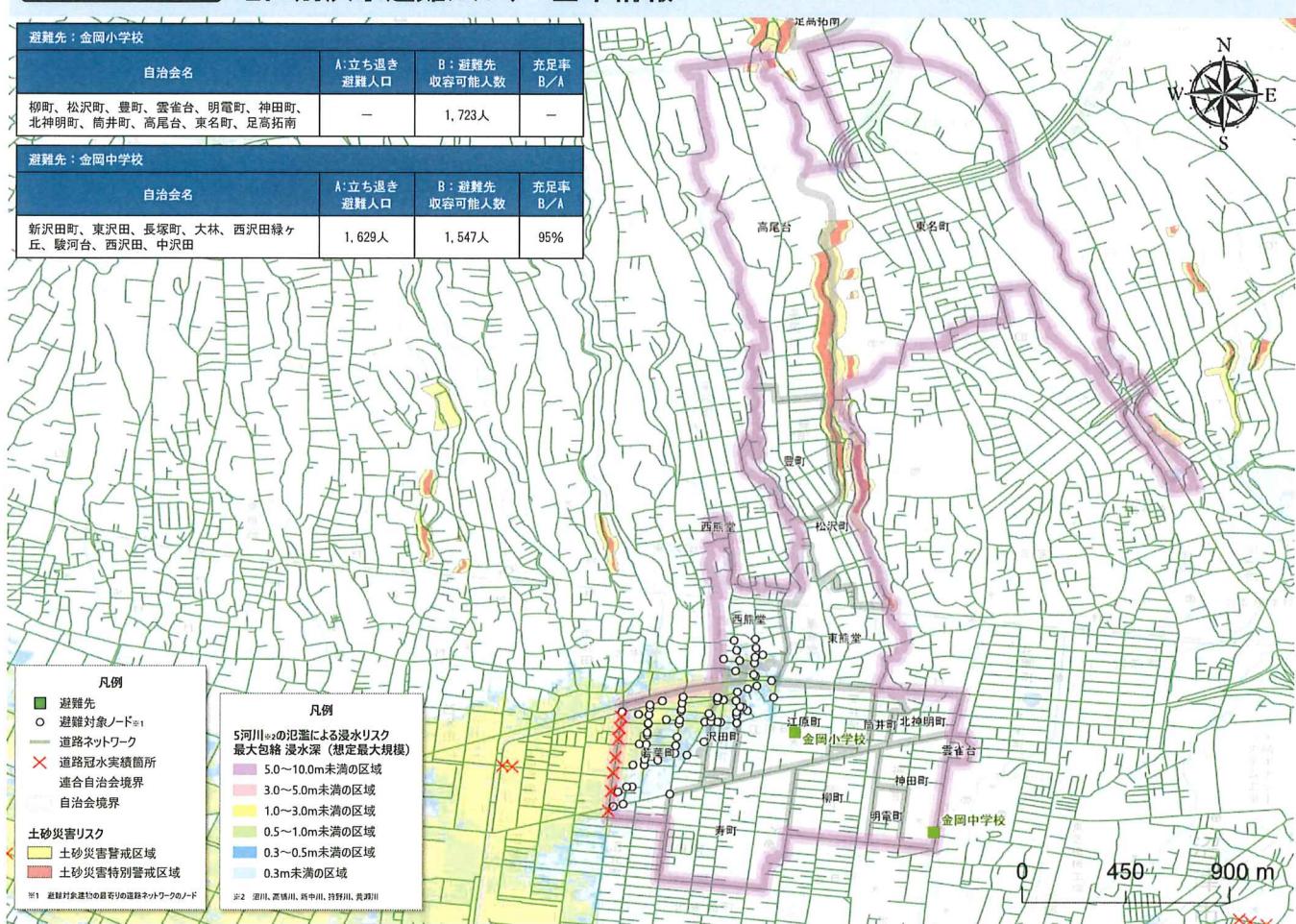
6 地区別カルテ

避難判断水位到達後に避難行動を開始したときは、ほぼすべての方が氾濫危険水位到達までに避難行動を完了できる形になります（カルテに示す金岡中部地区の結節点 67 箇所のうち 64 箇所が避難可能の青色を示しています）。狩野川・黄瀬川に比べて川幅が狭く、堤防高も低いため、増水したときは急速に水位が上昇するおそれがあります。川沿いに居住する方や避難行動要支援者の方は避難判断水位到達前に避難を開始する必要があります。

北部の急傾斜地は土砂災害（特別）警戒区域に指定されている箇所が複数あり、付近にお住まいの方は発表される注意報・警報に注視し、早い段階で避難行動を開始する必要があります。

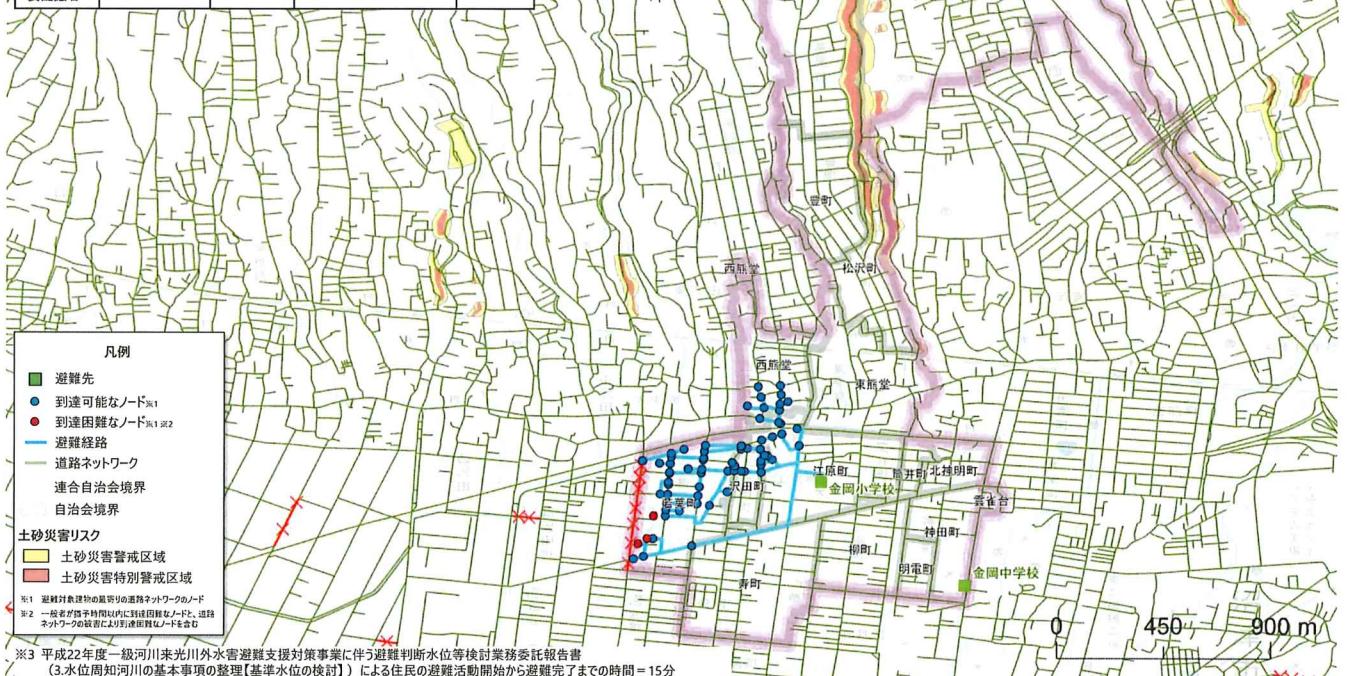
金岡中部地区 地区別洪水避難カルテ 基本情報

避難先：金岡小学校		A:立ち退き避難人口	B:避難先収容可能人数	充足率B/A
自治会名				
柳町、松沢町、豊町、雲雀台、明電町、神田町、北神明町、筒井町、高尾台、東名町、足高拓南	—	1,723人	—	—
避難先：金岡中学校		A:立ち退き避難人口	B:避難先収容可能人数	充足率B/A
自治会名				
新沢田町、東沢田町、長塚町、大林、西沢田緑ヶ丘、駿河台、西沢田、中沢田	1,629人	1,547人	95%	—



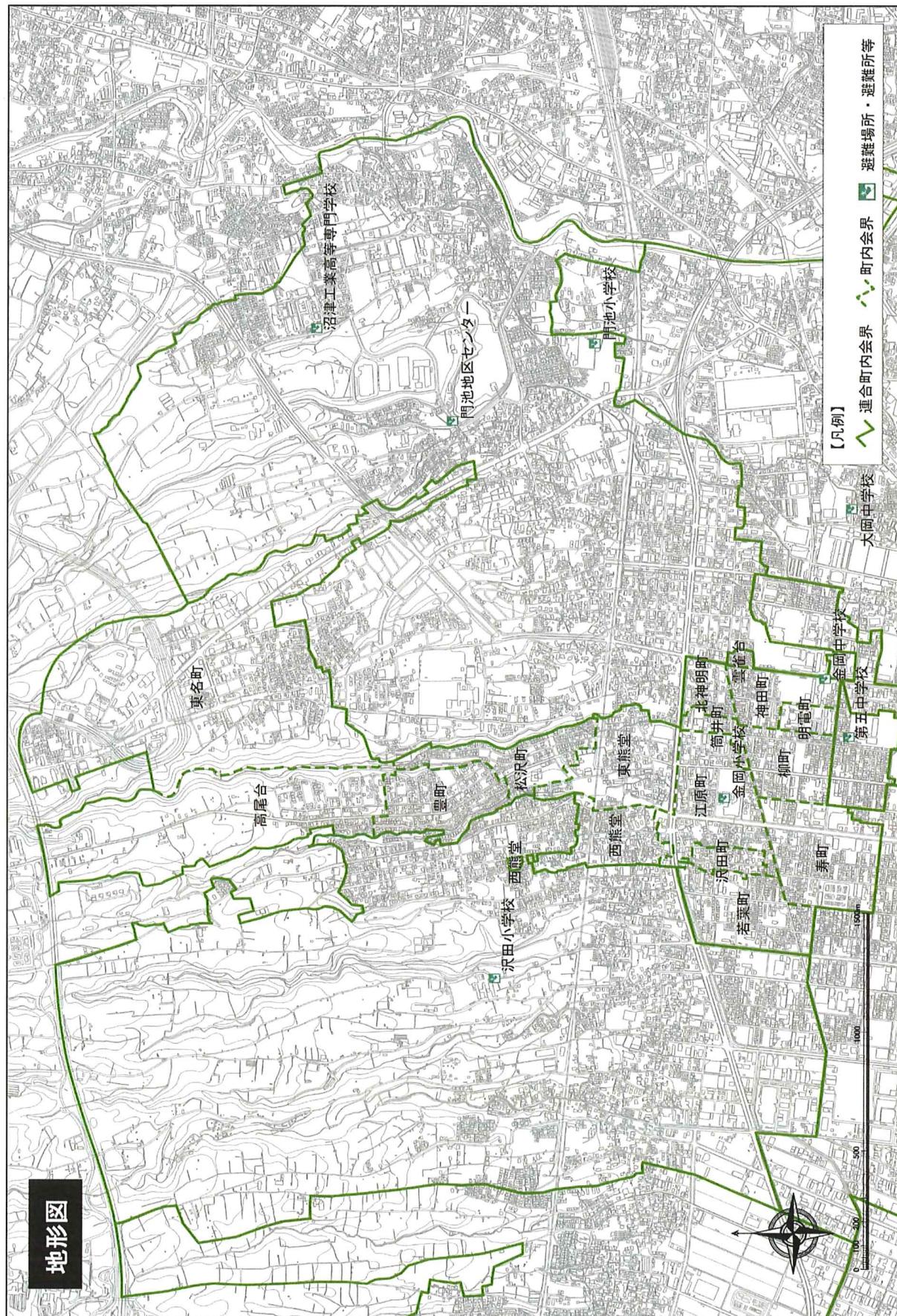
金岡中部地区 地区別洪水避難カルテ 住民避難シミュレーション結果(冠水実績箇所:通行不可)

避難先：金岡小学校		危険水位設定時に おける避難想定時間※1	避難可否
種別	最長避難距離	避難時間	
一般者	905m	約16分	不可
要配慮者		約31分	不可
避難先：金岡中学校			※一般者の避難について図示
種別	最長避難距離	避難時間	危険水位設定時に おける避難想定時間※1
一般者	—	—	15分（新中川）
要配慮者		—	—

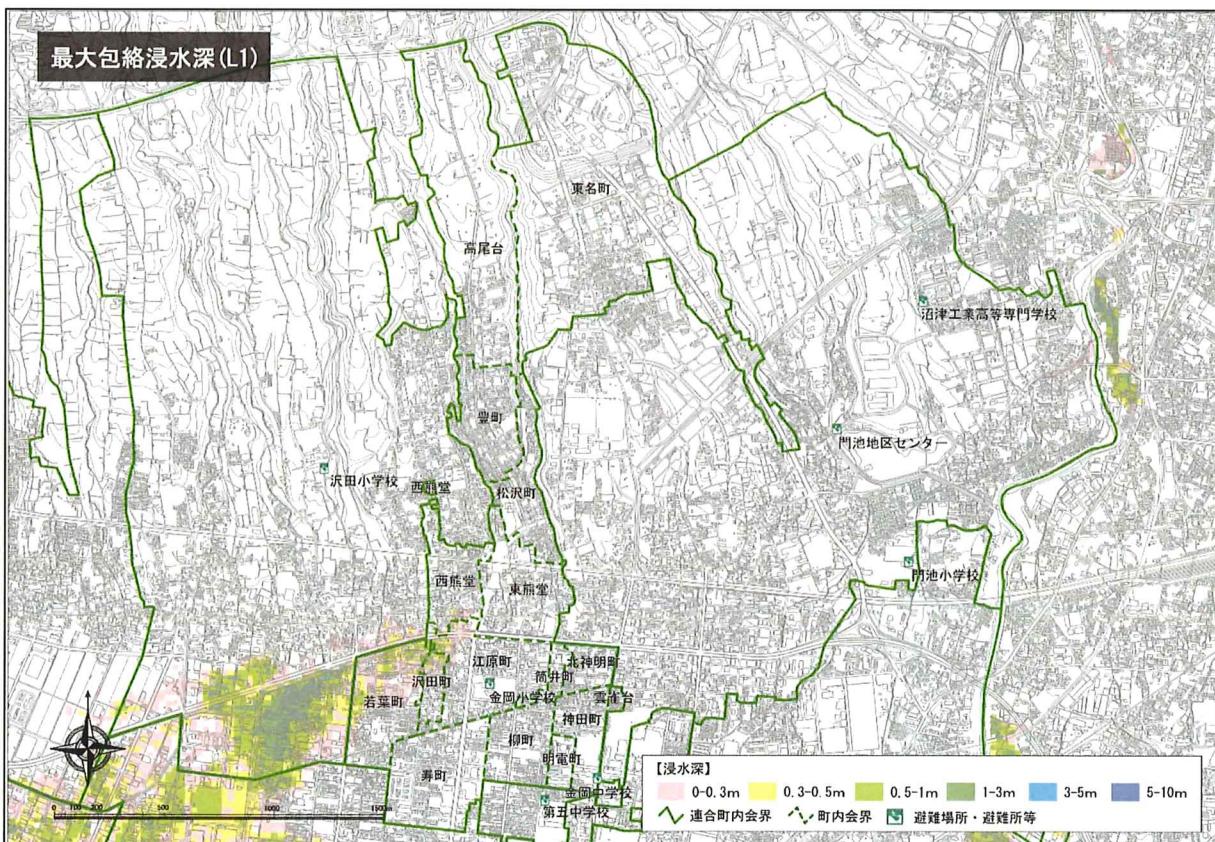
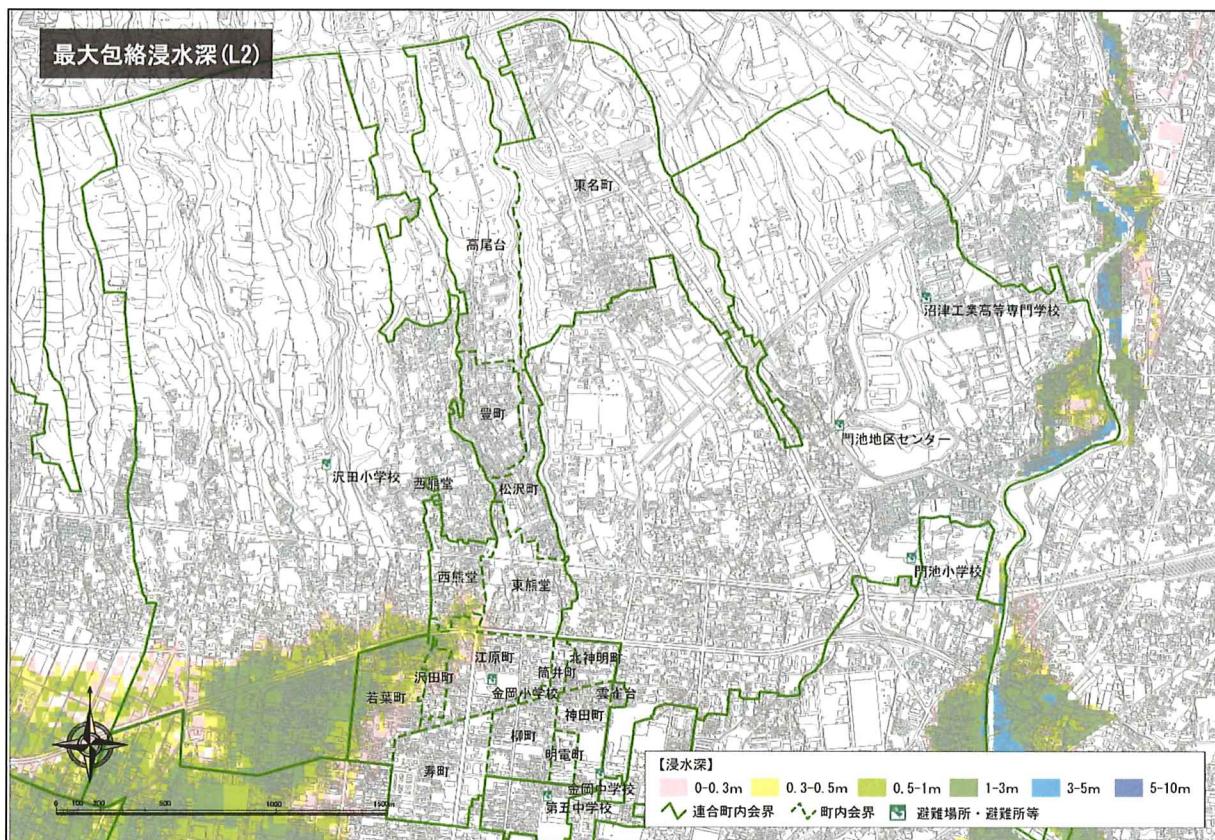


※3 平成22年度一級河川来光川外水害避難支援対策事業に伴う避難判断水位等検討業務委託報告書
（3.水位周知河川の基本事項の整理【基準水位の検討】）による住民の避難活動開始から避難完了までの時間 = 15分

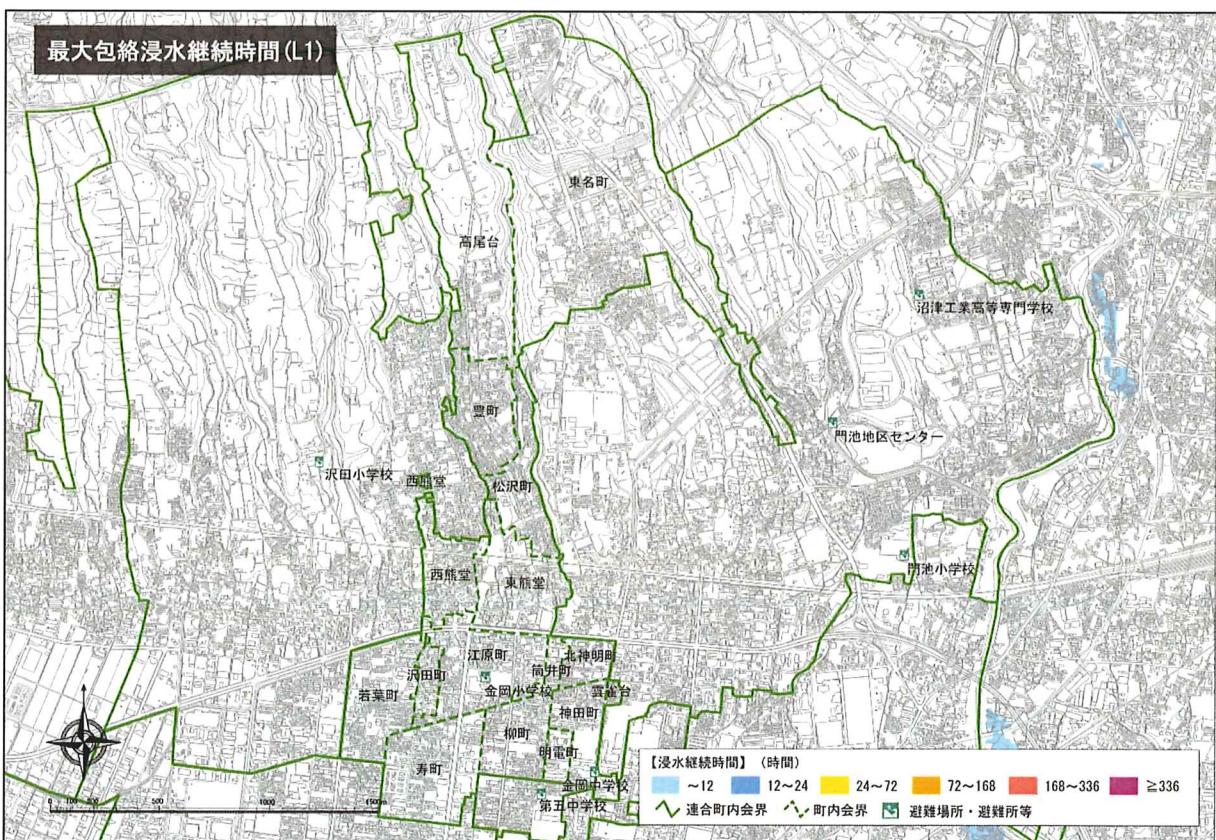
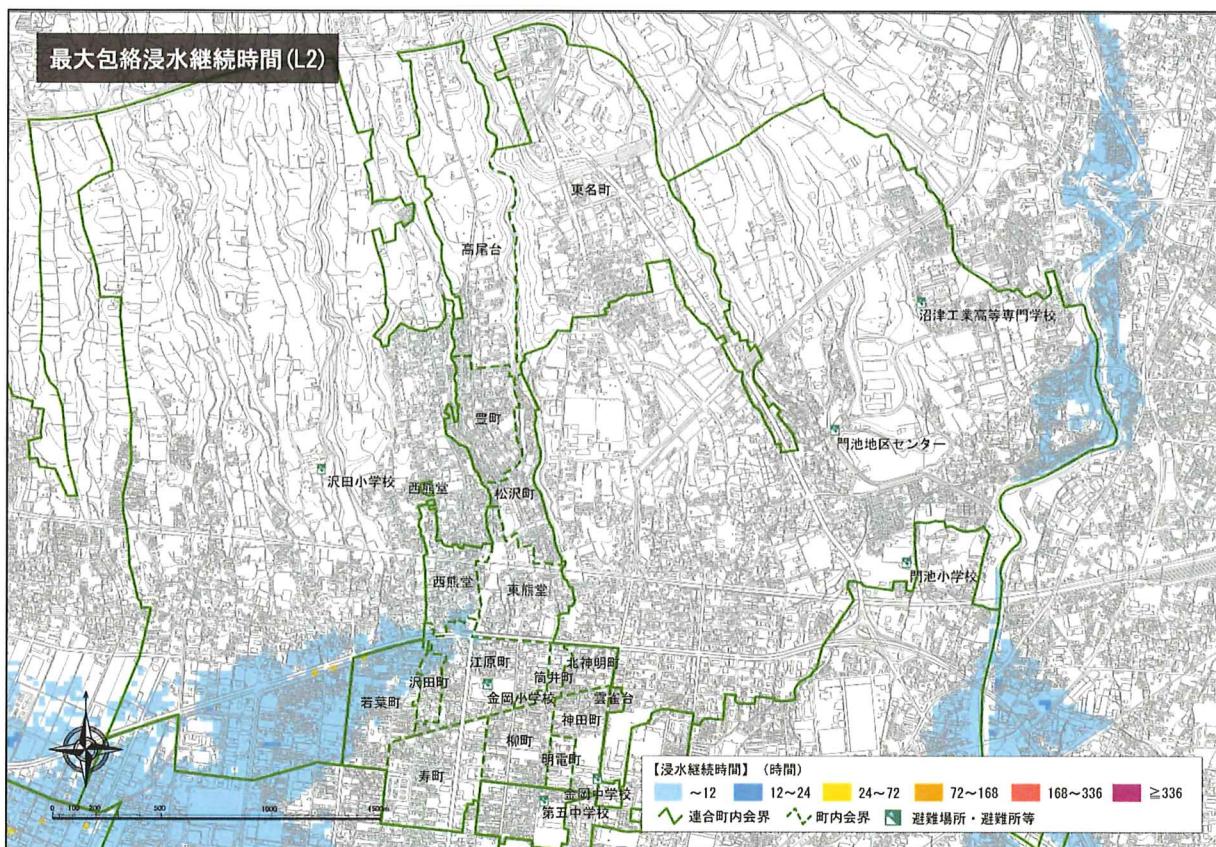
地形図で自宅の位置を確認してみよう



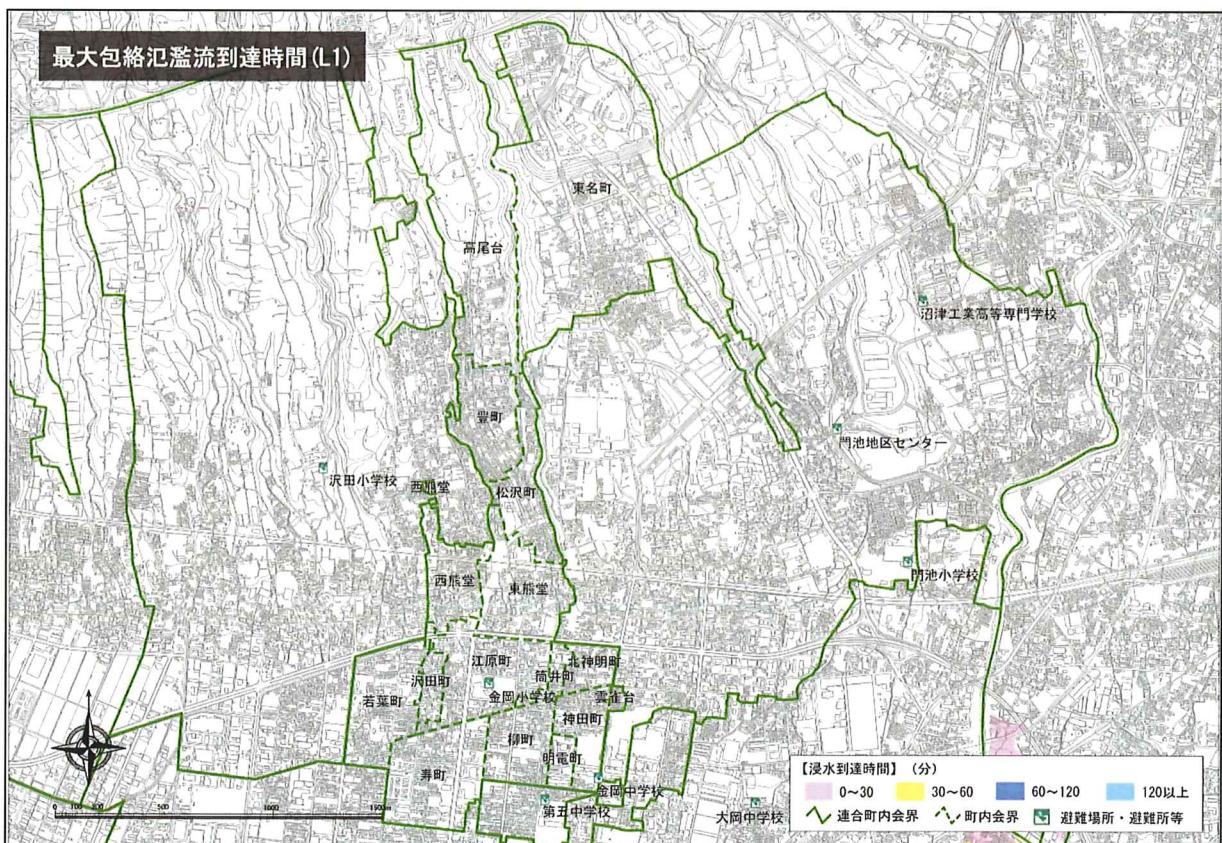
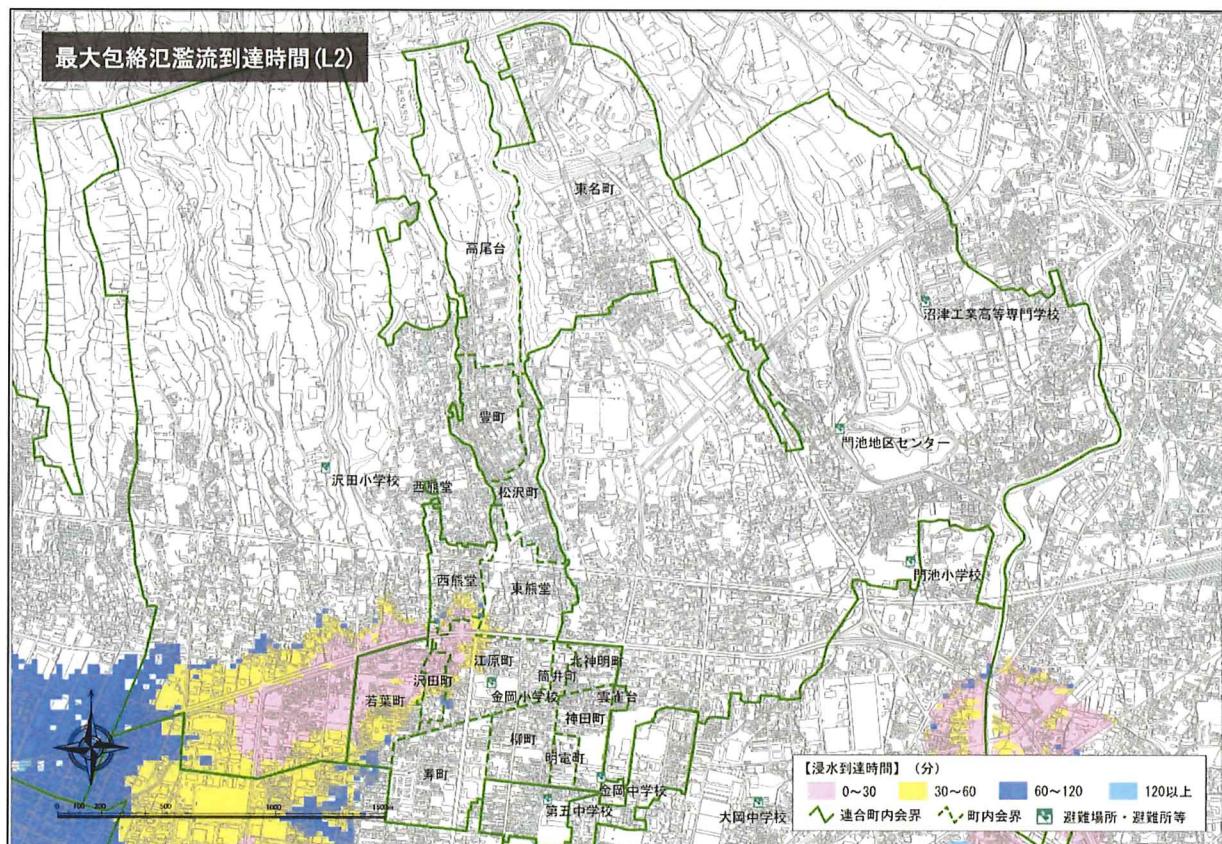
浸水範囲と浸水深を確認してみよう



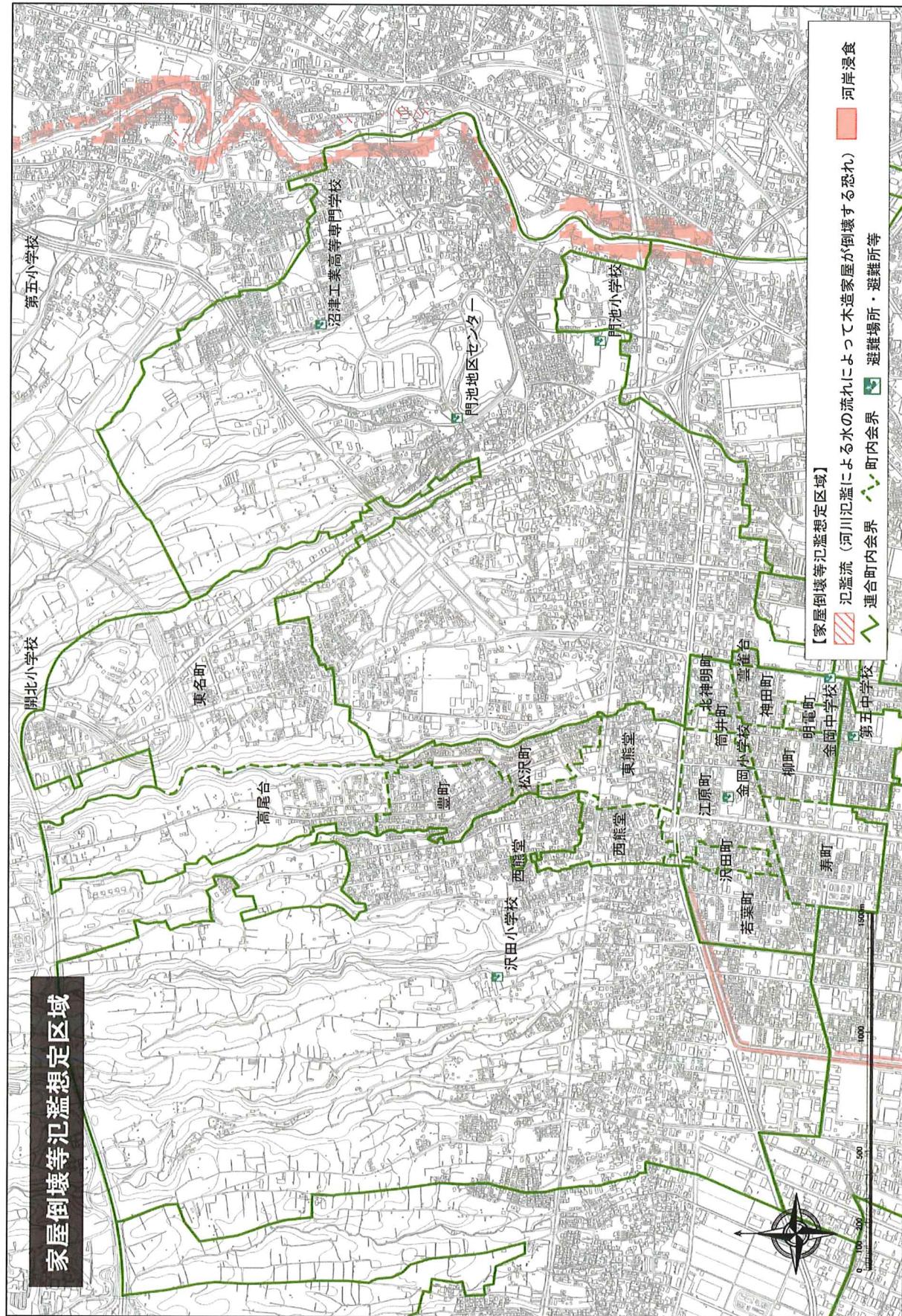
浸水継続時間を確認してみよう



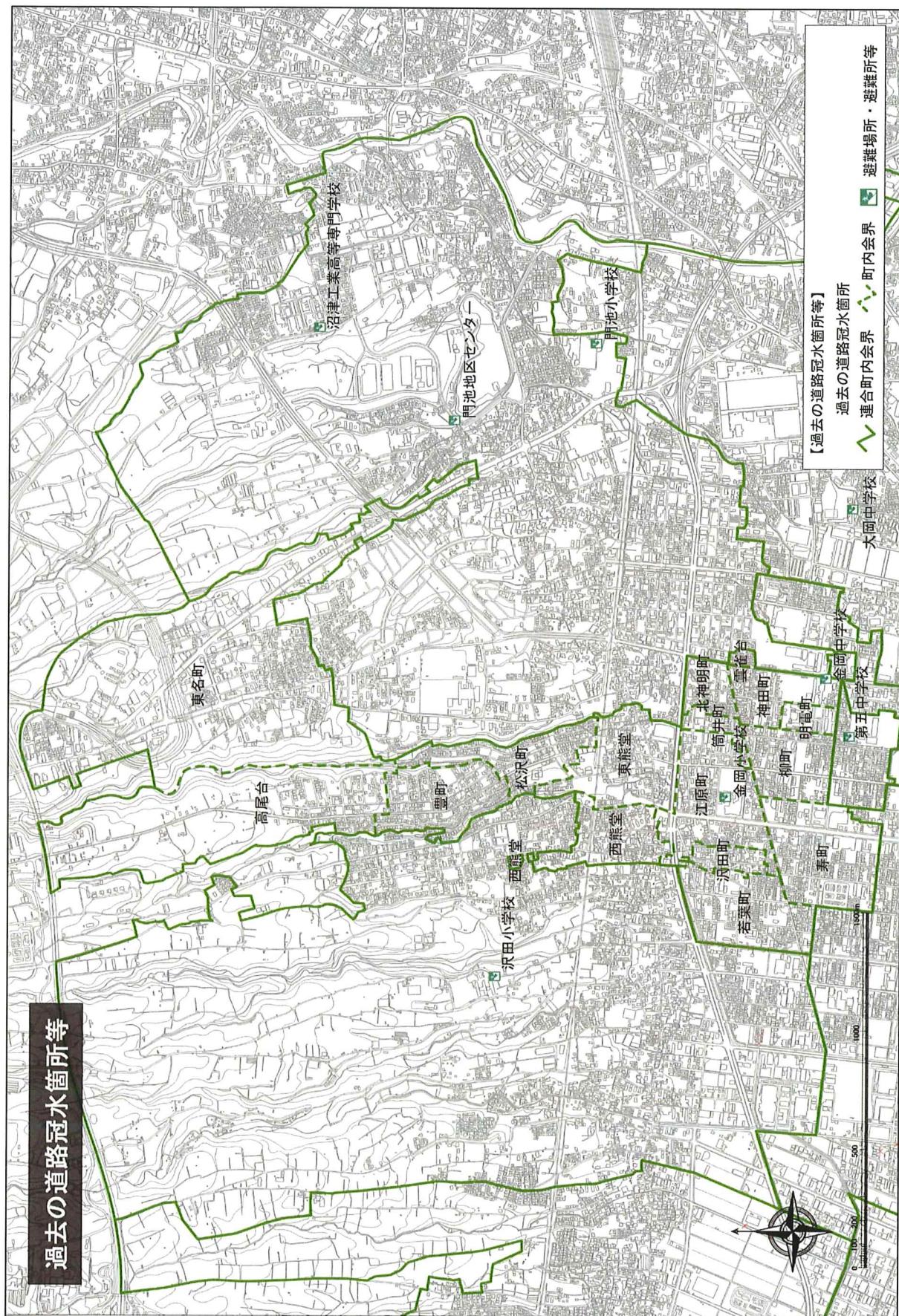
氾濫流到達時間を確認してみよう



家屋倒壊等氾濫想定区域を確認してみよう



過去の浸水箇所を確認してみよう



土砂災害ハザードマップを確認してみよう

